



21

伝統／文化／歴史
最後の一句

もり
おうがい
森 鷗外

ねらい

- ① 主人公の行動に対する自分の考えをもとう。
② わが国を代表する作家・森鷗外の作品にふれよう。

☑ ウォーミングアップ

読解の道しるべ

◆「最後の一句」のの流れとポイント

高札が立つ——「船乗り業桂屋太郎兵衛という者を斬罪に処する」

難破した船の積み荷の残りを売り、金を得た罪。死罪に問われている

↓一家の長女いちちが立ち聞きし、奉行所へ願い書を出す。

ポイント 奉行所でのいちちの言動と、それに対する人々の反応・思いに着目して読もう。

いちちの言動

父の命を救うため、願い書を書いて奉行所へ出す。

「お父^とさんを助けて、その代わりに私ども子どもを殺してください」**献身**

西町奉行所の佐佐の受けた印象

哀れな孝行娘

- ・ふつつかな仮名文字。
- ・十四、五歳ぐらいに見えるらしい娘。

人に教唆せられた愚かな子ども

- ・文章の条理がよく整っている。
- ・大人が書かせたのではあるまいか。

生い先の恐ろしい者

- ・氷のように冷ややかに、刃のように鋭い、最後の一句↑憎悪

◆森鷗外について

森鷗外（一八六二～一九二二年）は、明治・大正時代に活躍した作家である。四十五歳で軍医トップの役職である陸軍軍医総監に就き、医者、軍人、官僚としても活躍した。夏目漱石とともに、日本の近代文学を代表する文豪といわれる。主な作品に『舞姫』『阿部一族』『山椒大夫』『高瀬舟』などがある。

「読解の道しるべ」を参考にして書こう。

① 桂屋太郎兵衛の長女いちちは、

めの願い書を奉行所に出しに行った。

② 取り調べの場において、いちちの最後の一句を聞いた役人たちは、いちちの

言動のうちに潜む _____ を感じ取った。

た

漢字・語句を確認しよう。

1 線の読み仮名を書きなさい。

① 斬罪に処する。

② 祖父を慕う。

③ 和睦を結ぶ。

④ 船が出帆する。

⑤ 奉行所があった土地。

⑥ 会の趣意を理解する。

⑦ 警備員の詰め所。

⑧ 憎悪の念を抱く。

⑨ お話を伺う。

⑩ 赦免をことう。

⑪ 臆することがない。

⑫ 陳述を聞く。

⑬ 事情を探る。

⑭ 三角州で農作物を作る。

2 線の片仮名を漢字で書きなさい。

- ① ユウフクな暮らし。 ()
- ③ 資源がトボしい。 ()
- ⑤ 無実をウツタえる。 ()
- ⑦ カイチュウ時計を見る。 ()
- ⑨ 待合室でヒカえる。 ()
- ⑪ 初志をカンテツする。 ()
- ⑬ 歴史をカエリみる。 ()
- ⑮ 故郷へのボジョウを抱く。 ()
- ② 優しいニョウボウ。 ()
- ④ クチビルをかむ。 ()
- ⑥ アカツキの空を見る。 ()
- ⑧ 職務をシッコウする。 ()
- ⑩ 使節をツカわす。 ()
- ⑫ ゴウモンを受ける。 ()
- ⑭ 動物のトウソウ本能。 ()
- ⑯ 身分をイツワる。 ()

3 次の各問いに答えなさい。

- (1) 次の語句の類義語として最も適切なものをあとから選び、記号で答えなさい。

- ① 予期 ア 予定 イ 予想 ウ 期日 エ 期限
- ② 覚悟 ア 決心 イ 自覚 ウ 理性 エ 覚醒かくせい
- ③ 失望 ア 希望 イ 失念 ウ 失敗 エ 落胆
- () () () () ()

- (2) 次の——線部の語句の意味を答えなさい。

- ① もっと練習すればよかったと痛切に感じる。

- ② 長い間絶交していた友人と和睦わぼくする。

- ③ 油断していたところに、不意打ちを食らわされる。

- (3) 次の語句の使い方が正しいものをあとから一つ選び、記号で答えなさい。

- ① ろくろく

ア 試験の日に電車が事故で遅れるなんて、ろくろく運がない。

イ いつも苦勞をかけた両親に、ろくろく感謝を表す。

ウ 写真をろくろく見ると、そこには祖父母が写っていた。

エ 弟は漫画に夢中になっていて、呼んでもろくろく返事もしない。

- ② しきりに

ア 雨が降っていたが、しきりに晴れてきた。

イ 彼が約束を破るなんて、しきりにないことだ。

ウ 叱られたせい、しきりに元気がないようだ。

エ 空腹なのか、さっきからしきりにお腹なかが鳴る。

- ③ きざず

ア 彼女が犯人ではないかという疑念が心にきざず。

イ 欠勤があまりに多いと、業務に支障をきざず。

ウ 大会が無事に終わるように、万全をきざず。

エ ずいぶん長い間待たされて、しびれをきざず。

練習問題 1

教科書 P. 140 上段
Q. 1 ~ P. 143 上段
Q. 15

1 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

著作権の関係で見本 PDF では表示していません。

20

15

10

5

□
(1)

(1) 線①「この予期すべきこと」とありますが、どんなことですか
四十字以上五十字以内で書きなさい。

□
(2)

(2) — 線②「いつもいい物をお土産に持ってきてくれる祖母」とありますが、何をお土産に持ってきてくれるのですか。文中から書き抜きなさい。

□
(3)

□に入る人数を書きなさい。

□
(4)

線③「居船頭」とありますが、太郎兵衛はどんな仕事をしていますか。三十字以内で書きなさい。

A full page of graph paper with a grid of dashed lines. The grid consists of 10 columns and 10 rows of squares. The leftmost column is slightly wider than the others. In the bottom-left corner, there are two numbers: "50" and "40".[illegible]

著作権の関係で見本 PDF では表示していません。

(森鷗外『最後の一句』)

40

35

30

25

□(5) — 線④「もう米主に返すには及ぶまい」とありますが、新七がこう言っ

たのはなぜですか。最も適切なものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

ア 難船をした損害を米主に補填してもらわなくてはならないから。

イ 難船をした知らせを聞いて米主は積み荷をあきらめたろうから。

ウ もともと米を売った金の半分を運送料としてもらう約束だったから。

エ 難船した場合は米主に積み荷を返さなくてよいのが決まりだから。

()

□(6) — 線⑤「営業上に大きい損失をみた」とありますが、何の損失が大きか

ったのですか。最も適切なものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

ア 米 イ 金 ウ 船 エ 人

()

□(7) — 線⑥「太郎兵衛が入牢してとうとう死罪に行われることになった」と

ありますが、太郎兵衛はどのくらいの間入牢していましたか。文中から書き

抜きなさい。

□(8) 桂屋にかぶさってきた厄難において、一番の問題点は何だったのですか。

次の「 」に入る言葉を文中から書き抜きなさい。

_____ をしたあとの処理をするときに、太郎兵衛の

_____ がふと曇って、_____ に返

すべき金を受け取ってしまった点。



練習問題 2

教科書 P.143 上段 ㊦ 17 ～ P.145 上段 ㊦ 13

1 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

著作権の関係で見本 PDF では表示していません。

20

15

10

5

□ (1)

——線①「何やら布団の中で独り言を言った」とありますが、このときのいちの気持ちとして最も適切なものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

ア 自分の考えた計画のすばらしさを自画自賛する気持ち。

イ 思案していたことに答えが見つかった希望を見いだした気持ち。

ウ 命が惜しくてひるみそうになる自分を勇気づける気持ち。

エ 手段を選んでいる場合ではないと、ただただあせる気持ち。

()

□ (2)

——線②「いいこと」について、次のⅠ・Ⅱに答えなさい。

□ Ⅰ いちはどんなことを考えたのですか。「〳〵こと。」に続くように文中から十九字で探し、その初めと終わりの四字を書き抜きなさい。

)

こと。

□ Ⅱ Ⅰの内容を具体的に言うかどうかのことですか。次の「」に入る言葉を文中から書き抜きなさい。

お奉行様に、

を助ける代わりに、

と言って頼むこと。

□ (3)

——線③「お父さんが助ければ、それでいい」とありますが、ここからいちのどのような様子がわかりますか。最も適切なものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

ア 自分の考えを曲げようとしない意地っ張りな様子。

イ いかに誠実そうに振る舞おうとする偽善的な様子。

ウ 自分を犠牲にして人に尽くそうとする献身的な様子。

エ 目的を達するためには手段を選ばない冷酷な様子。

()

著作権の関係で見本 PDF では表示していません。

(森鷗外『最後の一句』)

45

40

35

30

25

□(4) — 線④「そんなら、お父っさんが助けてもらいたくないの」とありますが、このときのいちの心情として最も適切なものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

ア 計画の意味を理解できないまつを責める気持ち。

イ まつをだまして自分の計画に協力させたいという気持ち。

ウ まつに自分の計画に同意してほしいと願う気持ち。

エ お父っさんに対するまつの冷淡さを悲しむ気持ち。

()

□(5) — 線⑤「今夜願い書を書いておいて」とありますが、いちの願い書が書きあがったのはいつ頃ですか。文中から書き抜きなさい。

()

□(6) — 線⑥「そんならおいらも行く」とありますが、長太郎と一緒に行くこと決めたのはなぜですか。次の文の「 」に入る言葉を文中から書き抜きなさい。

姉さんたちが

で出かけると聞いたから。

□(7) — 線⑦「目は覚めなかった」とありますが、なぜだと考えられますか。「線り言」という言葉を使って、その理由を書きなさい。



練習問題 3

教科書
P. 148 上段 2. 12 ~ P. 150 下段 2. 1

1 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

著作権の関係で見本 PDF では表示していません。

20

15

10

5

□ (1)

——線①「佐佐の声は不機嫌であった」とありますが、なぜ佐佐は不機嫌だったのですか。佐佐の心情にふれて書きなさい。

□ (2)

——線②「佐佐は不審らしい顔をした」とありますが、佐佐はなぜ不審に感じたのですか。その理由として最も適切なものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

ア いちの書いた願い書には、子どものものとは思えないほどにふつつか
な筆跡が見られたから。

イ いちの書いた願い書には、子どものものとは思えないほどに立派な筆跡
が見られたから。

ウ いちの書いた願い書には、子どものものとは思えないほどに乱雑な条
理が見られたから。

エ いちの書いた願い書には、子どものものとは思えないほどに整然とした
条理が見られたから。

()

□ (3)

——線③「それ」とはどのようなことですか。その内容を文中の言葉を使
って、三十字以上四十字以内で具体的に書きなさい。

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

著作権の関係で見本 PDF では表示していません。

(森鷗外『最後の一句』)

45

40

35

30

25

□(4)

——線④「自分の考え」とはどのような考えですか。その内容として最も適切なものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

ア 太郎兵衛の刑を執行するまでの間にいちがうそをついていないか探ればよい。

イ 太郎兵衛の刑の執行は明日なのでいちの願い書を取り上げている時間はない。

ウ いちの願い書を取り上げるのは町年寄たちが同席しているときのほうがよい。

エ 改めていちを呼び出す白州の場には拷問ごうもんに使う道具を並べておくのがよい。

□(5)

——線⑤「よほど情のこわい娘とみえますな」とありますが、これは誰のどのような様子について言った言葉ですか。具体的に書きなさい。

40 30



練習問題 4

教科書
P. 150 下段 ③ ~ P. 152 下段 ④

1 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

著作権の関係で見本 PDF では表示していません。

20

15

10

5

□ (1)

□に入る言葉として最も適切なものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

ア たたどしく イ あさましく
ウ いかめしく エ うらめしく

()

□ (2)

——線①「尋問は女房から始められた」とありますが、尋問のとき、女房はどのような様子でしたか。最も適切なものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

ア 理不尽な扱いをされて腹を立てている様子。
イ 責められていることが不服で反抗的な様子。
ウ 助かることを諦めていて無気力な様子。
エ おびえて硬くなっている余裕がない様子。

()

□ (3)

——線②「次に長女いちが調べられた」とありますが、尋問のとき、いちはどうのような様子でしたか。いちの様子を表す言葉を文中から十一字で書き抜きなさい。

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

(4) ——線③「一部始終の陳述をした」について、次のⅠ・Ⅱに答えなさい。

□Ⅰ いちはどのようなことを陳述したのですか。陳述の具体的な内容にあたる部分を文中から探し、その初めと終わりの五字を書き抜きなさい。

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

著作権の関係で見本 PDF では表示していません。

(森鷗外『最後の一句』)

40

35

30

25

□Ⅱ 陳述の様子から、いちについてどのようなことがわかりますか。最も適切なものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

ア 非常に利発な少女であること。

イ 思い込みの激しい頑固な少女であること。

ウ とても負けず嫌いな少女であること。

エ おとなしく控えめな少女であること。

()

□(5)

——線④「まづは呼ばれたのに気がつかなかった」とありますが、なぜ気がつかなかったのですか。その理由として最も適切なものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

ア ほかの家族のことが心配でそのことに気をとられていたから。

イ 尋問は自分には関係のないことだと思っていたから。

ウ 極度の緊張で周囲の物音が耳に入らない状態だったから。

エ 尋問が長引いたせいで退屈し、うわの空だったから。

()

□(6)

——線⑤「兄弟一緒に死にたいのじゃな」とありますが、長太郎はなぜ兄弟と一緒に死にたいと考えているのですか。五十字以内で書きなさい。

定期テスト対策

教科書
P 140
～
159

実施時間のめやす ↓ 20分

得点

／
100点

1 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

著作権の関係で見本 PDF では表示していません。

20

15

10

5

□
(1)

——線①「佐佐の顔には、不意打ちにあったような、驚愕の色が見えた」とありますが、佐佐はいちの何に「驚愕」したのですか。最も適切なものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

(15点)

ア 家族を犠牲にしようとする冷たさ。

イ 理路整然と説明する利発さ。

(森鷗外『最後の一句』)

40

35

30

25

工 自分の命を粗末にする非情さ。

(15点)

[illegible]

(15点)

(15点)

$$\left(\begin{array}{c} \text{---} \\ \text{---} \end{array} \right)$$

(完答10点)

—

(3点×10)

—

—

—

—

10

70

条件2 五十文字以上七十文字以内で書くこと。

条件1 「覚悟」「信賴」「挑む」という言葉を使って書くこと。

条件2 五十字以上七十字以内で書くこと。